

飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校 中学部通信



令和6年9月11日(水)
第10号



飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校
中学部・校長 秦 俊 明



学習について

生徒に学習のことについて次のようなことを話しました。(要約)

「頑張っているのに、成績が上がらない。」と感じている人はいませんか。「頑張っているのに、成績が上がらない。」と感じている人は、勉強の仕方が自分に合っていないかもしれません。成績が上がるのは、一般的に言われていることでもあります。「授業への集中」、「計画的な勉強」、「学んだことを、自分の言葉で説明できること」です。あるいは、「学んだことを、キーワードを使って説明できること」です。

「授業への集中」は、「生まれつきや可能性」なのではなく、「その人の感情や意志」です。一人一人が意志を強く持ち、学級のみならず、相互に向上しようとする雰囲気をつくること大切です。

「計画的な勉強」は、独自の計画を立て、それを実行し、どうであったかを反省し、改善する。それを繰り返しながら自分の効果がでる勉強法を見つけることです。ちなみに、ただ教科書を視るだけではなく、**五感**(視る、聴く、嗅ぐ、味わう、触れる)を使って学習すると効果があると言われています。

「学んだことを、自分の言葉で説明できること」、あるいは、「学んだことを、キーワードを使って説明できること」は、要旨を他人にわかるように説明できることです。授業においては、学習の振り返りの時間で、要旨をまとめることが大切です。学んだことを説明できて、「理解できた」となります。

表1

飯塚鎮西中学校9年生 標準化得点 経年変化

	国語	数学	理科	英語
R6				
R5				
	【前年度比】・国語 +2.1ポイント ・数学 +21.8ポイント			
	標準化得点 (本校の平均正答数)÷(県の平均正答数)×100			

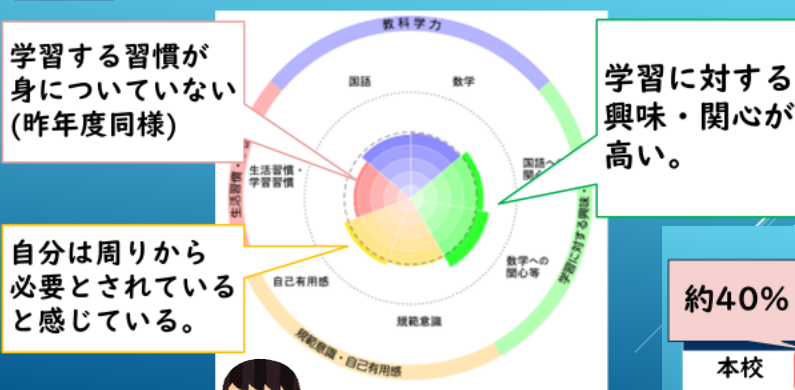
令和6年度全国学力・学習状況調査(9年生対象)の結果がでました。(表1) 前年度よりもポイントは上昇していますが、二・三学期、さらに個に応じた指導の徹底に努めて参ります。

一方、(図1)「学習に関する興味・関心」「生活習慣・学習習慣」「規範意識・自己有用感」について質問がありました。自分で時間をコントロールする習慣がついてなく、(表2)休日に学習時間が少ないのが課題です。学校では、Qubena などを利用した週末課題を習慣化させたり生徒会学習文化の取組と連携したりして、学力向上の取組ができればよいと思います。御家庭での過ごし方のご指導・ご協力もよろしくお願いいたします。

また、本年度の本校の重点であるタブレットを効果的に活用した授業を増やしたり積極的に生徒の成長を褒めたりして意欲を喚起して参ります。

図1

「生徒質問紙」から見られた状況



「生徒質問紙」から見られた課題

約40% 平日にどれくらい勉強をしますか。 約30% 約15% 約55%

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分以下	しない
本校	9.6	16.4	16.4	30.1	19.2	8.2
福岡県	8.4	20.4	29.3	20.0	13.2	8.2
全国	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6

約15% 土日にどれくらい勉強をしますか。 約55%

	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間以下	しない
本校	5.5	11.0	6.8	19.2	35.6	21.9
福岡県	4.8	8.4	18.6	26.4	25.9	15.1
全国	5.7	9.8	20.7	26.8	23.1	13.1

